

# はしがき

決算書を読むためには、2つの点を理解することが大切です。

それは、

- ① 決算書のしくみ
- ② 決算書を読むときのポイント

です。

決算書のしくみを理解するということは、決算書のどこに何が書いてあるかを理解するということです。これは、決算書を読むうえでの前提となります。

次に、決算書を読むときのポイントを理解するということは、決算書のどこをどのように読めばよいか、を理解するということです。これを独学で身に付けるのは、少々難しいかもしれません。

この小冊子では、簿記の知識がまったくない方にも、上記の2つの点を身に付けられるよう、わかりやすく解説しています。特に、2つ目の点に配慮しつつ、決算書の読み方を体系的に身に付けられるよう、決算書のサンプルを使って解説しています。

決算書を読むときのポイントさえしっかりと理解できれば、決算書を読みこなすことができるようになります。

決算書から、会社の実態や経営上の課題を読み取ることができるようになるのです。

ぜひ最後までご一読いただき、決算書を読む力を身に付けていただきたいと思います。

そして、決算書から読み取ったことを、皆様の会社経営に少しでもお役立っていただければ幸甚です。

2012年 10月

# 経営者のための「決算書 見どころ勘どころ」

## 目次

### 第1章 決算書の構造を理解しよう

1. 決算書にはどのようなものがあるか	02
2. 損益計算書の全体構造を知ろう	03
3. 収益・費用を分類する	04
4. 5つの利益の違いを理解しよう	05
5. 貸借対照表の全体構造を知ろう	06
6. 資産の部にはどのようなものがあるか	07
7. 負債・純資産の部にはどのようなものがあるか	08
8. 貸借対照表はどのような順序で並んでいるのか	09
9. 純資産の部を詳しく見てみよう	10
10. 株主資本等変動計算書の全体構造を知ろう	11
11. 利益剰余金のゆくえ	12
12. 決算書間のつながりを理解しよう	13
13. キャッシュ・フロー計算書とは	14
14. 利益とキャッシュ・フローとの違いを理解しよう	15
15. キャッシュ・フロー計算書の構造を知ろう	16
16. 直接法と間接法による表示方法がある	17

### 第2章 損益計算書分析のポイント

1. 損益計算書(例示)	18
2. 当期の損益の概要を押さえよう	19
3. 当期の損益を前期からの動きで分析しよう	20
4. アラリ率の動きに注意しよう	21
5. 期末在庫と利益の関係を理解しよう	22
6. ヒトに係るコストを分析しよう	23
7. モノに係るコストを分析しよう	24
8. カネに係るコストを分析しよう	25
9. 特別損益の中身はどのようなものか	26
10. 税効果会計を適用するとどうなるか	27
11. 配当に無理はないか	28

### 第3章 貸借対照表分析のポイント

1. 貸借対照表(例示)	29
2. 当期の財産の概要を押さえよう	30
3. 当期の財産を前期からの動きで分析しよう	31
4. 売上債権は日頃の管理が重要	32
5. 棚卸資産は増やさない努力が必要	33
6. 減価償却費とは	34
7. 土地の含み損に注意しよう	35
8. 有価証券はどのように計上されるか	36
9. 関係会社株式には要注意	37
10. 資金調達の形態は	38
11. 引当金とは	39
12. 退職給付会計とは	40
13. 債務超過とはどのような状態か	41
14. 株主資本等変動計算書から 純資産の動きを分析しよう	42

### 第4章 キャッシュ・フロー計算書分析のポイント

1. キャッシュ・フロー計算書(例示)	43
2. キャッシュ・フロー計算書から 資金の動きを押さえよう	44
3. 営業活動によるキャッシュ・フローを分析しよう	45

### 第5章 決算書のチェックポイント

1. 損益計算書のチェックポイント	46
2. 貸借対照表のチェックポイント	47
3. キャッシュ・フロー計算書のチェックポイント	48

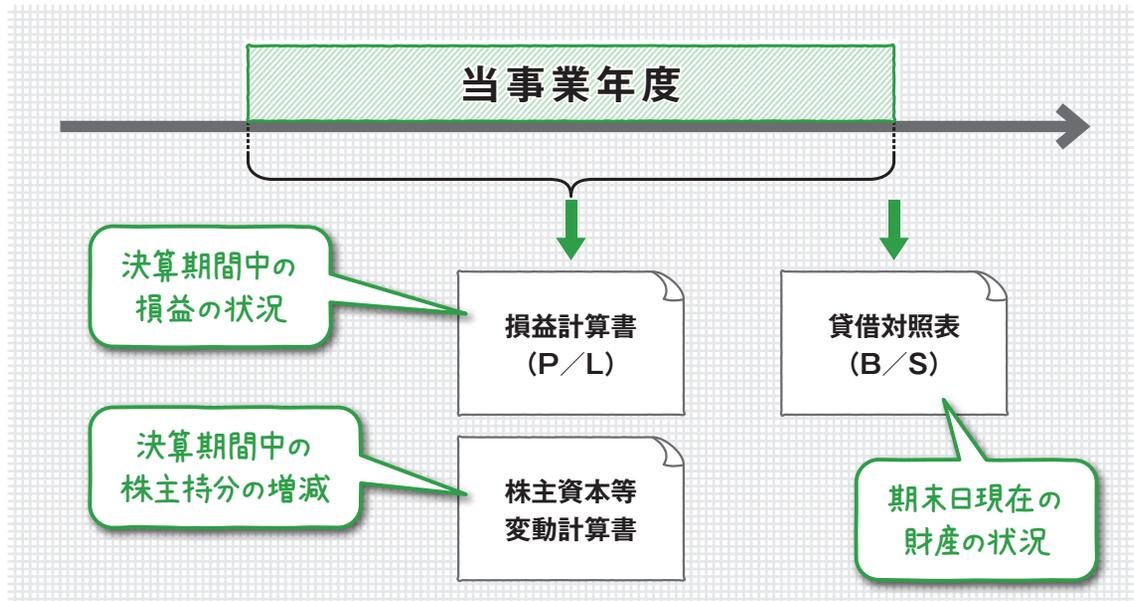
# 第1章

## 決算書の構造を理解しよう

この章では、決算書の構造について、解説いたします。

### 1

### 決算書にはどのようなものがあるか



#### 1 決算書とは

決算書は、決算期間における会社の活動を数値にまとめたものです。

多くの会社では、決算期間を1年（たとえば、4月1日から翌年の3月31日まで）と定めています。決算書には、次のものがあります。

- ・損益計算書 (P/L)
- ・貸借対照表 (B/S)
- ・株主資本等変動計算書

#### 2 損益計算書とは

損益計算書とは、決算期間中の損益の状況を表したものです。

すなわち、決算期間中に、どれだけ収益

が発生し、その収益を得るためにどのくらいの費用がかかり、最終的にいくらのお金が残ったのかを表しています。

#### 3 貸借対照表とは

貸借対照表とは、決算期末日現在における財産の状況を表したものです。

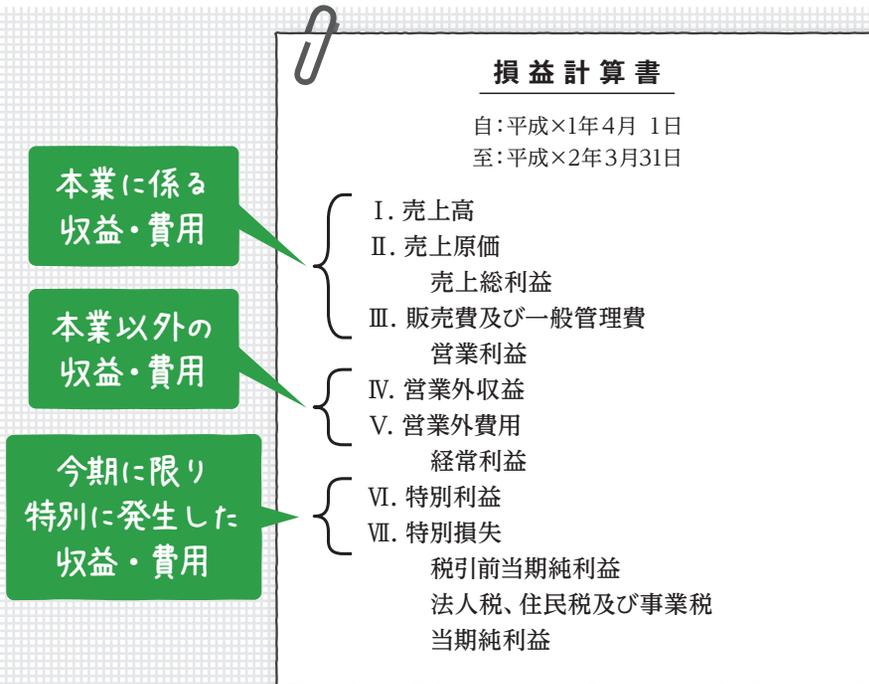
すなわち、期末時点で、会社がどのくらいの財産を保有しているのかを表しています。

#### 4 株主資本等変動計算書とは

株主資本等変動計算書は、決算期間中に、株主の持分がどのように増減したのかを、その原因別に表しています。

## 2

## 損益計算書の全体構造を知ろう



## 1 損益計算書のタイトルの下に注目

損益計算書のタイトルのすぐ下には、

自：平成×1年4月1日

至：平成×2年3月31日

と記載されています。

「自」、「至」の意味は、平成×1年4月1日から平成×2年3月31日までという意味です。

つまり、損益計算書が、決算期間中における損益の状況を表したものであることを、ここでも確認することができます。

## 2 損益の内容に応じて表示場所が異なる

損益計算書では、損益の内容に応じて、表示場所が区分されています。すなわち、

- ・売上高
- ・売上原価
- ・販売費及び一般管理費

- ・営業外収益
- ・営業外費用
- ・特別利益
- ・特別損失

です。

売上高、売上原価、販売費及び一般管理費は、本業に係る収益・費用です。

営業外収益、営業外費用は、経常的に発生する損益のうち本業以外の収益・費用です。

営業外収益には、たとえば、預金の受取利息、配当金の収入、賃貸不動産の収入などがあります。

営業外費用には、たとえば、借入金の支払利息などがあります。

特別利益、特別損失は、今期に限り特別に発生した収益・費用です。

特別損益項目には、たとえば、固定資産を売却したときの損益、固定資産を廃棄したときの損失、災害などによる損失などがあります。